

資料名：もどってきてね

主題名：自然や生き物を大切にすること

内容項目：D (19) 自然愛護

1 **ねらい** 自然の大切さに気づき、身近な自然や生き物を大切にしていこうとする心情を育てる。

## 2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 映像資料を見て、ツバメやツバメ調査に興味・関心を持つ。

① ツバメ調査について知っていますか。

- ・聞いたことはあるけれど、よく知らないな
- ・高学年が春に調査しているのを見た
- ・ツバメの巣があるところを知っている

◇ 教材を読んで話し合う。

② ひろこはおじいさんの話を聞いてどう思ったでしょう。

- ・もうツバメが来ないかもしれないなんてさみしいな
- ・何で来なくなってしまったのかな

③ ひろこはおばさんの話を聞いてどう思ったでしょう。

- ・おばさんはツバメを大切にしているんだな
- ・ずっとツバメが来るといいな
- ・ツバメの数が減っているなんて残念だな
- ・ツバメのえさがなくなってきたから、ツバメが減ってきたんだね

④ ひろこはえさを運んでいるツバメを見て、どんなことを考えたでしょう。

- ・ツバメのひなが無事大きくなるといいな
- ・ツバメは子育てを一生懸命頑張っているね
- ・ツバメが増えていくといいな
- ・ツバメのえさがなくならないように、自然を守っていききたいな

◇ 身のまわりの自然や動植物について考え、話し合う。

⑤ 身近な動植物を大切にするとはどういうことか考えてみましょう。

- ・人間が勝手に自然を壊してはいけないと思う
- ・自分たちもゴミを捨てたり、水を汚したりしないようにする
- ・小さな命も大切に、かわいがるのが大切だと思う
- ・自分に何ができるかよく分からないけれど、大切にしたい気持ちを持っている

◇ 教師の説話を聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

## 3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入でツバメの巣の数の変化のグラフを提示し、年々減っていることに気付かせてから映像資料を見せることで、より興味関心を高めることも効果的である。
- ・終末で、自然や生き物を大切にしていることが書かれた児童の文章を紹介し、自然や生き物を大切にすることの心情を深めてもよい。

## 4 参考資料

- ・映像資料集（小学校中学年）「13 もどってきてね」

資料名：もどってきてね

主題名：自然や生き物を大切にすること

内容項目：D (19) 自然愛護

1 ねらい 自然の大切さに気づき、身近な自然や生き物を大切にしていこうとする心情を育てる。

## 2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 家にツバメの巣があるGTを紹介し、ツバメの生態について簡単に話してもらう。

① ○○さんのお話を聞きましょう。

◇ 映像資料を視聴し、ツバメやツバメ調査に興味関心を持ってから、教材を読んで話し合う。

② このお話を聞いて、どんなことを思いましたか。

- ・ ツバメが減っていて残念だなと思った
- ・ 田んぼやきれいな水辺が減ってきたから、ツバメが減ってきたと初めて知った
- ・ 自分もツバメ調査をしたくなった

③ おばさんの話を聞いて、子供たちはどんなことを思ったか役割演技をして考えてみましょう。

おばさん「ひなが落ちないように傘をつるしています」

子供「おばさんはひなのことが大事なのですね」

おばさん「最近ツバメのえさが減ってツバメが減っているのです」

子供「ツバメのえさがなくならないように自然を守らないといけないね」

子供「ツバメがいつまでもこの町に来てくれるといいな」

◇ GTの話聞き、生き物を大切にすることについて考える。

④ 生き物を大切にすることは、どういうことでしょうか。グループで話し合ってみましょう。

- ・ 生き物が安心して生きていけるように、これ以上環境が悪くならないようにしなければいけない
- ・ ゴミを捨てたり、水を汚したりしないようにしなければいけない
- ・ みんなで生き物を守る気持ちをもつといい
- ・ 人間が自分勝手なことをしないで、生き物のことをもっと考えていかなければいけないと思う

◇ 身近な生き物でありながら数が減っている生き物等を紹介し、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

## 3 指導上の留意点及び工夫

- ・ GTには、話をしてもらうだけでなく、質問も交えながら話し合うのもよい。また、ツバメだけに絞らず、他の動植物についても触れてもらうとよい。
- ・ ③の役割演技では、先生がおばさん役をするとよい。

## 4 参考資料

- ・ 映像資料集（小学校中学年）「13 もどってきてね」